

公益財団法人 小林奨学育英会

事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

1. 重要課題

1) 地域の期待に応える事業の推進。

地方都市、中小零細企業の景気は低迷がまだまだ続くものと予想される。所得の減少により子育て世代の全体の貧困化する社会において、進学を希望するが経済的理由で諦めざるを得ない優秀な子供を世に送り出す支援を目指す。

安定的に事業を進める体制を整えてはいるが、今後厳しい運営を強いられる事態も予想され、安定かつ高収益運用し事業の一層の拡大を図るものとする。

2) 事業成果の認知拡大

インターネットのホームページの内容充実、各高等学校への通知、新聞広告により、育英事業活動の成果に対する地域の認識を深める。

2. 助成事業

1) 給付事業

奨学生の採用予定人数及び奨学給付金の決定

(1) 平成 27 年度に大学に入学する者 5 名以内

(2) 1 人当たり給付金 月額 7 万円とし、就学期間 4 年分、年分合計 336 万円の奨学金給付契約書を締結すると共に、その年度の予算に計上し、奨学給付準備金として別途積立てる。

平成 27 年度の予算に計上した奨学金給付費は、16,800,000 円である。

(3) 給付の方法 毎月、本人の口座に月額給付金を準備預金より取り崩して振り込むものとする。

(4) 給付の対象者（奨学生）学業及び人間性について高い評価を得ながら、経済的理由によって就学が困難と思われる者で奥州市及び胆沢郡金ヶ崎町に在住する者。

(5) 選考方法 応募者は、すべて指定された課題の小論文を添えて、学校推薦で応募する。

選考会議は、評議員及び役員の 3 分の 2 以上が出席し、学業、人間性及び経済的事情を総合勘案して判断し、公正を期するものとする。

2) 貸与事業（無利子）

26 年度をもって奨学生への奨学金貸与は終了。

4月分は平成27年4月下旬、なお以後の奨学金の給付日は毎月25日とする。
(金融機関休日の場合は、その翌営業日とする。)

3) 奨学生の募集、及び応募の周知方法について

平成26年度事業

- (1) 新聞広告 胆江日日新聞 4回・岩手日報新聞 3回
(平成27年1月～3月)
- (2) インターネット ホームページ掲載 (平成27年1月～3月)
<http://www.kobayashi-scholarship-society.or.jp/>
- (3) 奥州市及び金ヶ崎町の高等学校へのパンフレット等の配布。
- (4) 募集期間
平成27年2月2日(月)～平成27年3月27日(金)までとする

平成27年度事業

- (1) 新聞広告 胆江日日新聞 4回・岩手日報新聞 3回
(平成28年1月～3月)
- (2) インターネット ホームページ掲載 (平成28年1月～3月)
<http://www.kobayashi-scholarship-society.or.jp/>
- (3) 奥州市及び金ヶ崎町の高等学校へのパンフレット等の配布。
- (4) 募集期間
平成28年2月2日(火)～平成28年3月29日(月)までとする

4) 奨学生の選考及び決定

給付規程に基づき、奨学生選考委員会の選考を経て理事長が奨学生認定証書を本人に交付する。

平成27年度事業計画書、収支予算書承認理事会、評議員会開催
平成27年1月上旬

平成27年度奨学生選考日程

ア、選考書類送付	平成27年3月 下旬
イ、選考委員会開催 奨学生の決定	平成27年4月 中旬
ウ、評議員、役員総会 奨学生認定証書公布	平成27年5月 上旬

平成28年度事業計画書、収支予算書承認理事会、評議員会開催
平成28年2月中旬

平成28年度奨学生選考日程

ア、選考書類送付	平成28年3月 下旬
----------	------------

イ、選考委員会開催 奨学生の決定	平成28年4月 中旬
ウ、評議員、役員総会 奨学生認定証書公布	平成28年5月 上旬